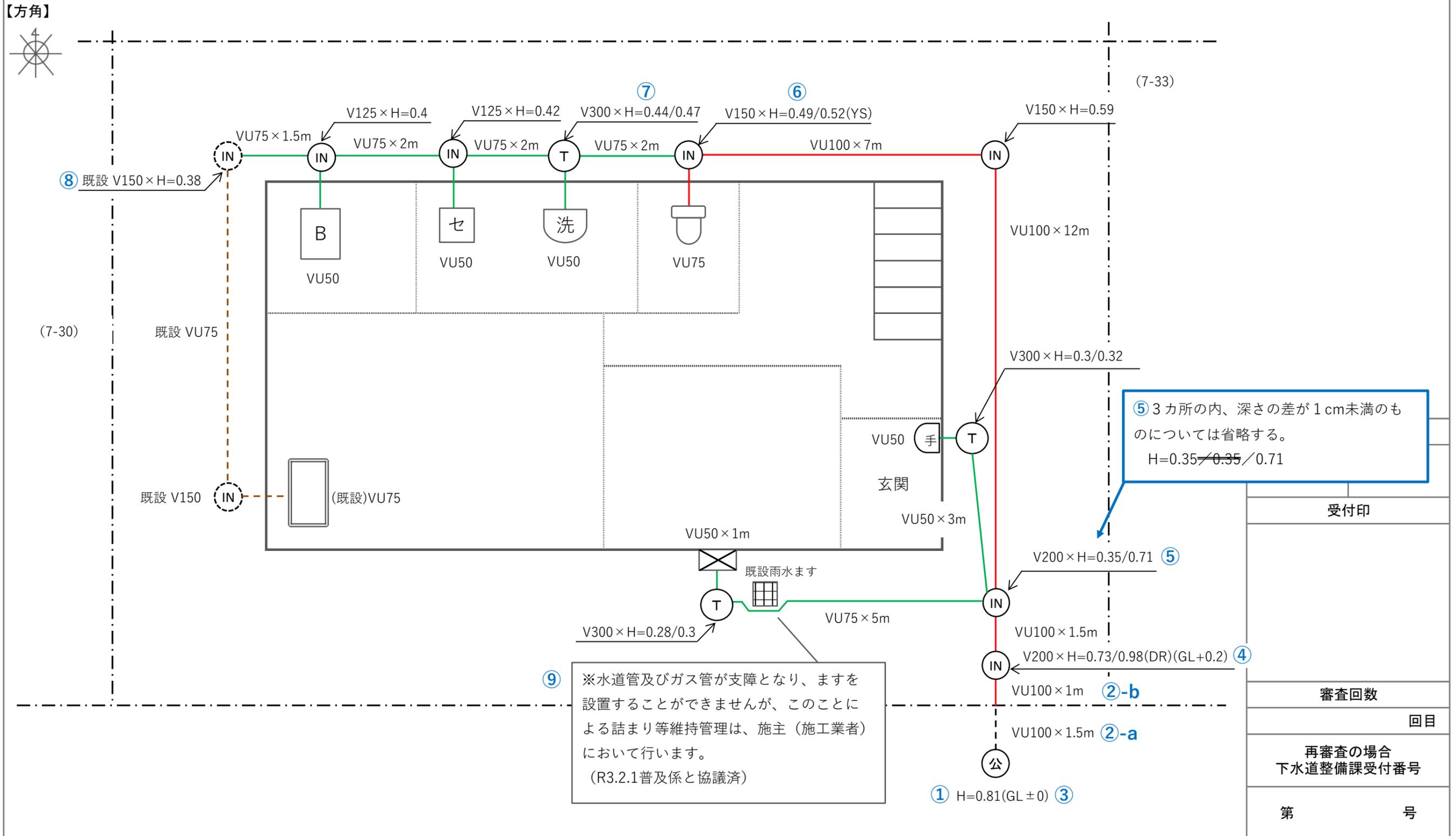


# 排水設備確認申請

令和 3 年 2 月 31 日 提出

## 現地調査表

業種	一般家庭	・その他( )	設置場所	下関市 春日 町 丁目 7 番 32 号	工事店名	(株)水道工務店
計画・完成の別	計画	完成	工事の種類	新設 (く・浄・新築) 増設 (便所・排水設備) 改築 (建替新築・その他)	申請者	水道 太郎
住宅地図	(中心・彦島・山陰・山陽)	86 ページ A — 5	公共樹の有無	有 (見込管 有・無) 無	責任技術者	水道 太郎
【方角】					利子補給の希望の有無	有・無



## 図面作成上の注意点

- 用紙サイズは日本産業規格A3（カラー）
- 提出部数 2 部（計画図・完成図）
- 原則、方角は北を上とする。ただし、建物の形により作成が困難な場合は、この限りでない。
- 数値の単位は次のとおり
  - ・ ます及び管の呼び径 … mm
  - ・ 上記以外（管延長、管底深さ、GL等） … m
- ※ 最小有効桁数は少数点第 2 位まで
- ※ 管延長以外は、単位表記省略可
- 管延長は、排水横主管のみ記載
- 使用する記号は別紙凡例のとおり
- 系統図は必要に応じて添付（要協議）

### 【表記事項】

- ① 公共ますの流入管底深さ
- ② 公共ますから宅内第 1 インバートますまでの延長を次の 2 つに分けて表記（完成図では実寸で表記）
  - ②-a 公共ますから敷地境界までの距離
  - ②-b 敷地境界から宅内第 1 インバートますまでの距離
- ③ GL（グラウンドレベル）の表示は、公共ますを基準（GL±0）とし、各ますについてはGL±0からのレベル差が変化するとき表記
- ④ ドロップますは、流入／流出の管底深さ及び末尾に（DR）と表記
- ⑤ 1つのますに対し3方向以上接続する場合は、異なる管底深さを全て表記
- ⑥ 段差付ますは、流入／流出の管底深さ及び末尾に（YS）と表記
- ⑦ トラップますは、流入／流出の管底深さを表記
- ⑧ 既設と新設を接続した場合、既設ますの管底深さを表記
- ⑨ やむを得ない理由により、技術基準に適合した施工ができないときは、必ず事前に普及係と協議の上、当該箇所、状況及び維持管理責任者を記載
  - ※ 必要に応じて平・断面図を添付

**※ 事前に協議のない変更については認められませんので、施工途中の変更等についても必ず局担当者と協議を行うこと。**